2018
講義要綱
SYLLABUS

北翔大学大学院

GRADUATE SCHOOL,HOKUSHO UNIVERSITY

平成30年度　北翔大学大学院　学事日程

月		火		水		木		金		土		日		備考
												4／1		
4／2		4／3	在学生オリエンテーション	4／4	入学式	4／5	オリエンテーション	4／6	オリエンテーション	4／7		4／8		
4／9	①	4／10	①	4／11	①	4／12	①	4／13	①	4／14		4／15		教育学科養護教諭コース３年次 養護実習：４/９～４/27
4／16	②	4／17	②	4／18	②	4／19	②	4／20	②	4／21		4／22		
4／23	③	4／24	③	4／25	③	4／26	③	4／27	③	4／28		4／29	昭和の日	
4／30	振替休日	5／1	7/16の振替休日	5／2	9/24の振替休日	5／3	憲法記念日	5／4	みどりの日	5／5	こどもの日	5／6		
5／7	④	5／8	④	5／9	④	5／10	④	5／11	④	5／12		5／13		
5／14	⑤	5／15	⑤	5／16	⑤	5／17	⑤	5／18	⑤	5／19		5／20		こども学科２年次 教育実習：５/14～６/１
5／21	⑥	5／22	⑥	5／23	⑥	5／24	⑥	5／25	⑥	5／26		5／27		
5／28	⑦	5／29	⑦	5／30	⑦	5／31	⑦	6／1	⑦	6／2		6／3		健康福祉学科(介護)　４年次 訪問介護実習：６/18～６/29
6／4	⑧	6／5	⑧	6／6	⑧	6／7	⑧	6／8	⑧	6／9		6／10		健康福祉学科(介護)　２年次 介護基礎実習：６/27～６/29
6／11	⑨	6／12	⑨	6／13	⑨	6／14	⑨	6／15	⑨	6／16		6／17		
6／18	⑩	6／19	⑩	6／20	⑩	6／21	⑩	6／22	⑩	6／23		6／24		
6／25	⑪	6／26	⑪	6／27	⑪	6／28	⑪	6／29	⑪	6／30		7／1		
7／2	⑫	7／3	⑫	7／4	⑫	7／5	⑫	7／6	⑫	7／7		7／8		
7／9	⑬	7／10	⑬	7／11	⑬	7／12	⑬	7／13	⑬	7／14		7／15		
7／16	海の日⑭	7／17	⑭	7／18	⑭	7／19	⑭	7／20	⑭	7／21		7／22		
7／23	⑮	7／24	⑮	7／25	⑮	7／26	⑮	7／27	⑮	7／28		7／29		教育学科４年次 保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ：８月
7／30	補講・試験日(月)	7／31	補講・試験日(火)	8／1	補講・試験日(水)	8／2	補講・試験日(木)	8／3	補講・試験日(金)	8／4		8／5		教育学科養護教諭コース２年次 看護学臨床実習：８月中
8／6		8／7		8／8		8／9		8／10		8／11	山の日	8／12		健康福祉学科(介護)　３年次 介護実習Ⅱ：８/20～９/28
8／13		8／14		8／15		8／16		8／17		8／18		8／19		健康福祉学科３年次 相談援助実習：８月～９月
8／20		8／21		8／22		8／23		8／24		8／25		8／26		教育学科３年次 教育実習Ⅰ(幼･小)：
8／27		8／28		8／29		8／30		8／31		9／1		9／2		幼稚園　８/20～９/７ 小学校　８/20～９/14
9／3		9／4		9／5	学園創立記念日	9／6		9／7		9／8		9／9		心理カウンセリング学科４年次 精神保健福祉援助実習：８月～９月
9／10		9／11		9／12		9／13		9／14		9／15		9／16		こども学科２年次 保育実習（保育所）：８月～９月
9／17	敬老の日	9／18		9／19		9／20	オリエンテーション	9／21	①	9／22		9／23	秋分の日	こども学科２年次 保育実習（施設）：９月～12月
9／24	振替休日①	9／25	①	9／26	①	9／27	①	9／28		9／29	大学祭	9／30		
10／1	②	10／2	②	10／3	②	10／4	②	10／5	②	10／6		10／7		
10／8	体育の日	10／9	③	10／10	③	10／11	③	10／12	③	10／13		10／14		
10／15	③	10／16	④	10／17	④	10／18	④	10／19	④	10／20		10／21		
10／22	④	10／23	⑤	10／24	⑤	10／25	⑤	10／26	⑤	10／27		10／28		
10／29	⑤	10／30	⑥	10／31	⑥	11／1	⑥	11／2	⑥	11／3	文化の日	11／4		
11／5	⑥	11／6	⑦	11／7	⑦	11／8	⑦	11／9	⑦	11／10		11／11		
11／12	⑦	11／13	⑧	11／14	⑧	11／15	⑧	11／16	⑧	11／17		11／18		
11／19	⑧	11／20	⑨	11／21	⑨	11／22	⑨	11／23	勤労感謝の日⑨	11／24		11／25		
11／26	⑨	11／27	⑩	11／28	⑩	11／29	⑩	11／30	⑩	12／1		12／2		
12／3	⑩	12／4	⑪	12／5	⑪	12／6	⑪	12／7	⑪	12／8		12／9		
12／10	⑪	12／11	⑫	12／12	⑫	12／13	⑫	12／14	⑫	12／15		12／16		
12／17	⑫	12／18	⑬	12／19	⑬	12／20	⑬	12／21	⑬	12／22		12／23	天皇誕生日	
12／24	振替休日	12／25		12／26		12／27		12／28		12／29		12／30		
12／31		1／1	元旦	1／2		1／3		1／4		1／5		1／6		
1／7	⑬	1／8	⑭	1／9	⑭	1／10	⑭	1／11	⑭	1／12		1／13		
1／14	成人の日	1／15	11/23の振替休日	1／16	⑮	1／17	⑮	1／18	⑮	1／19		1／20		
1／21	⑭	1／22	⑮	1／23	補講・試験日(水)	1／24	補講・試験日(木)	1／25	補講・試験日(金)	1／26		1／27		
1／28	⑮	1／29	補講・試験日(火)	1／30		1／31		2／1		2／2		2／3		
2／4	補講・試験日(月)	2／5		2／6		2／7		2／8		2／9		2／10		健康福祉学科(介護)　２年次 介護実習Ⅰ：２/12～３/11
2／11	建国記念の日	2／12		2／13		2／14		2／15		2／16		2／17		心理カウンセリング学科３年次 精神保健福祉援助実習：２月～３月
2／18		2／19		2／20		2／21		2／22		2／23		2／24		教育学科３年次 保育実習Ⅰ(保育所)：２月
2／25		2／26		2／27		2／28		3／1		3／2		3／3		教育学科３年次 保育実習Ⅰ(施設)：３月
3／4		3／5		3／6		3／7		3／8		3／9		3／10		
3／11		3／12		3／13		3／14		3／15		3／16		3／17		
3／18		3／19	学位記授与式	3／20		3／21	春分の日	3／22		3／23		3／24		
3／25		3／26		3／27		3／28		3／29		3／30		3／31		

講義要綱 SYLLABUS の利用にあたって

この冊子は、2018（平成30）年度に開講される授業科目の概要が記載されています。
授業の概要や到達目標をよく確認して授業を選択する参考にしてください。シラバスには、授業の担当教員名や、単位数等の他、次のような事項が記載されています。シラバスに記載された内容をよく理解し、授業に臨んでください。

・授業のねらい
・到達目標
・授業計画
・準備学習の内容（事前・事後の学習）
・使用するテキスト（教科書）や、参考書
・成績評価の方法（どのような基準で評価が決まるのか）
・質問への対応（連絡先など）
・その他（履修に当たっての特に注意すべき事項が記載されています）

《学習形態》

「授業の計画」各回の右欄に書かれている記号は学習形態を表し、授業の進め方、指導方法を表しています。

学習形態の用語説明

記号	学習形態	概要説明
A	講義	
B	演習	
C	実験	
D	実習	
E	実技	
F	プレゼンテーション	学生が、指示されたテーマや課題について、グループもしくは単独で調査・学習・実習等を行い、そのことについて他の受講生や教員等聴衆の前で発表する学習方法である。発表形式は、パワーポイントなどの情報機器を活用したものやポスターセッションなど様々である。発表後は、聴衆からの質疑に応答する。〇〇発表会、〇〇報告会等を含む。
G	レポートライティング	与えられたテーマや課題について調査や実験等を行い、調べた事実やデータを分析して、その過程と結果・考察などを文書にまとめる。あるいは、授業で学習したことを自分の言葉でまとめたり、自分の経験したことや体験したことなどについて、感じたことを理由とともにまとめるなど、知識や経験を自分の力で文書で表現する学習方法である。
H	グループワーク	教員から与えられた課題に対して、小グループ（3人から6人程度が一般的）内で共同作業やコミュニケーションをとりながら学修を進めていく協同学習である。コミュニケーション能力、メンバーが役割を分担した上で相互に協力・協働して課題に取り組む姿勢、自分の意見を主張する力と他人の意見を受け入れる力、決められた時間内に課題を解決して答えを出す力などを養成し、学生が社会に出てから活動するために必要な力を身につける。

I	ディベート	ある公的な主題について異なる立場（肯定側と否定側）に分かれ議論することを通して、第三者を客観的な証拠に基づいて説得するコミュニケーション形態（討論をする形式）である。 ディベートを通して学生の思考が活性化され、自分の意見や問題意識を持ったり、より論理的な考え方ができるようになるといった効果が期待される。
J	事例研究	ある事例について調査・研究し、問題の所在・原因を究明し、どのように対処するか解決策を見出す学習活動である。指導者は、学生の個別または集団研究に対して、研究の場を設定し、具体的な助言をしたり、事例を紹介したり、研究をコーディネートしたりして、学生の研究を導く立場で関わる。
K	ワークシート	授業前あるいは授業中に、学習の課題や問題等を提示した用紙を用い、調べたことや理解したことを確認し、理解の深化を促す学習方法である。また、講義の内容を書き込めるように準備された用紙等で理解の確認を行ったり、ワークシートに記入された個々の考えをもとに、ペアやグループワークで話し合い、学習内容を共有することもある。
L	ふり返り	授業の途中や終了時に、理解したことや分からなかったこと等について確認を行い、理解の促進を図る学習方法である。確認の方法としては、振り返りシート等の記入、ペア・グループワークによる意見の共有などがある。
M	フィールドワーク	社会調査における情報収集技法の一つである。研究者が直接現場へ出かけ一定期間滞在し、人々の生活に密着しながら出来事を観察・記述し、その空間の社会的構造をリアルに分析しようとするものである。 アクティブ・ラーニングの視点から、本学での「フィールドワーク」とは教員が提示したテーマや課題等について、学生が直接現場へ出かけ実地調査や研究等を通して、より深く分析し課題解決に向かうことをねらいとした学習形態である。
N	ロールプレイ	現実に起こる場面を想定して、参加者がそれぞれに与えられた役割を演じ（ロールプレイ）、疑似体験（シミュレート）をする学習方法である。技術・技能の修得や、現実的なケースにおける多面的な見方、態度・姿勢の涵養、他人の立場への理解などを促進する際に効果的である。

教 育 課 程 表

生涯スポーツ学専攻　専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 2年次 前	後	教員名	展開他	免許・資格	ページ
基礎教育領域							
生涯スポーツ施策特論	講義	2		上田知行	集中講義	[生ス]中専・高専(保健体育)_選必	187
地域スポーツ振興特論	講義	2		永谷稔	集中講義	[生ス]中専・高専(保健体育)_選必	188
スポーツ社会学特論	講義	2		千葉直樹			189
応用教育研究領域　スポーツ科学教育研究分野							
身体運動機構特論	講義	2		浅賀忠義	集中講義		190
応用教育研究領域　スポーツ教育学教育研究分野							
障がい者スポーツ指導特論	講義	2		瀧澤聡		[生ス]中専・高専(保健体育)_選必	191
障がい者心理学特論	講義	2		佐藤至英		[生ス]中専・高専(保健体育)_選必	192
スポーツ心理学特論	講義	2		蓑内豊	集中講義	[生ス]中専・高専(保健体育)_選必	193
研究指導							
特別研究指導Ⅱ	演習	←④→		担当教員	集中講義		194

生涯スポーツ学研究科
生涯スポーツ学専攻
2年次

科目名	生涯スポーツ施策特論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	上田　知行				

授業の目的	ねらい	国や地方自治体が行っている「スポーツ振興のための様々な施策」を理解し、豊かなスポーツライフを実現するための条件整備の方策、スポーツボランティアや非営利組織(NPO)について理解する。特に氷雪寒冷圏域における健康づくり運動では、積雪環境による運動制限に対するアプローチが課題となる。本講義では、産学官連携事業である「地域まるごと元気アッププログラム」の実践活動を通じて、個人の行動変容に向けた工夫のみならず、自治体や民間団体、NPO、大学との連携による包括的な取り組みについても講ずる。
	到達目標	(1)氷雪寒冷圏域における生涯スポーツ活動や健康づくりに必要な運動に関する施策を計画することができる。 (2)計画された施策にかかわる、公共や民間、非営利団体などと連携し、効果的な具体的実行プランを作成できる。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】15回の講義展開を説明します。日本における健康づくりを担うセクターについて説明します。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】日本の健康づくり施策 【計画内容】これまでの日本の健康づくり施策について学びます。 【準備学習の内容】配付された資料を読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】地方公共団体の健康づくり施策 【計画内容】地方公共団体が行っている健康づくり施策について学びます。 【準備学習の内容】配付された資料を読んでおくこと。	A、J
	第4回	【テーマ】民間および非営利団体(NPO)の健康運動施策 【計画内容】民間および非営利団体の健康運動施策について学びます。 【準備学習の内容】配付された資料を読んでおくこと。	A、J
	第5回	【テーマ】産学官で連携した健康づくり施策 1 【計画内容】「地域まるごと元気アッププログラム」の意義について学びます。 【準備学習の内容】配付された資料を読んでおくこと。	A、J
	第6回	【テーマ】産学官で連携した健康づくり施策 2 【計画内容】「地域まるごと元気アッププログラム」で実施する施策を具体的に理解し、その活動準備を行います。 【準備学習の内容】配付された資料を読んでおくこと。	A、H
	第7回	【テーマ】「地域まるごと元気アッププログラム」の実践 1 【計画内容】「地域まるごと元気アッププログラム」の実践を通じて地方自治体の健康づくり施策について学びます。 【準備学習の内容】具体的活動について理解しておくこと。	A、M
	第8回	【テーマ】「地域まるごと元気アッププログラム」の実践 2 【計画内容】「地域まるごと元気アッププログラム」の実践を通じて地方自治体の健康づくり施策について学びます。 【準備学習の内容】具体的活動について理解しておくこと。	A、M
	第9回	【テーマ】「地域まるごと元気アッププログラム」の実践 3 【計画内容】「地域まるごと元気アッププログラム」の実践を通じて地方自治体の健康づくり施策について学びます。 【準備学習の内容】具体的活動について理解しておくこと。	A、M
	第10回	【テーマ】「地域まるごと元気アッププログラム」の実践 4 【計画内容】「地域まるごと元気アッププログラム」の実践を通じて地方自治体の健康づくり施策について学びます。 【準備学習の内容】具体的活動について理解しておくこと。	A、M
	第11回	【テーマ】「地域まるごと元気アッププログラム」の実践 5 【計画内容】「地域まるごと元気アッププログラム」の実践を通じて地方自治体の健康づくり施策について学びます。 【準備学習の内容】具体的活動について理解しておくこと。	A、M
	第12回	【テーマ】「地域まるごと元気アッププログラム」の実践 6 【計画内容】「地域まるごと元気アッププログラム」の実践を通じて地方自治体の健康づくり施策について学びます。 【準備学習の内容】具体的活動について理解しておくこと。	A、M
	第13回	【テーマ】「地域まるごと元気アッププログラム」の実践 7 【計画内容】「地域まるごと元気アッププログラム」の実践を通じて地方自治体の健康づくり施策について学びます。 【準備学習の内容】具体的活動について理解しておくこと。	A、M
	第14回	【テーマ】「地域まるごと元気アッププログラム」の実践 8 【計画内容】「地域まるごと元気アッププログラム」の実践を通じて地方自治体の健康づくり施策について学びます。 【準備学習の内容】具体的活動について理解しておくこと。	A、M
	第15回	【テーマ】まとめ　発表会 【計画内容】これまでの振り返りを行います。計画について各自発表します。 【準備学習の内容】地域での実践を通じた発表レポートを作成しておくこと。	F、L

テキスト	プリントを配付します
参考書	文部科学省、2011年、『文部科学白書』 厚生労働省、2012年、『国民健康づくり運動(健康日本21-第2次)』 竹中晃二、2008年、『行動変容 - 健康行動の開始・継続を促すしかけづくり』、公益財団法人健康・体力づくり事業財団

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		40%			
	補足						

質問への対応	講義時に説明します。
資格	[生ス]中専・高専(保健体育)_ 選必
その他	

科目名	地域スポーツ振興特論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	永谷　稔				

授業の目的	ねらい	本講義のねらいは、北海道の行政の教育計画における健康づくり及びスポーツ振興計画の現状を把握し、その課題について理解することである。講義では、人々の生涯にわたって行われるスポーツ方策を学ぶ。自治体行政の教育計画における健康づくり及びスポーツ振興計画のあり方を包括的に講じ、市町村個別のレベルにおける生涯スポーツの実践計画を学ぶ。
	到達目標	(1)我が国における生涯スポーツのあり方について理解する。 (2)自治体行政の教育計画における健康づくり及び地域スポーツ振興計画のあり方を理解する。 (3)市町村レベルにおける生涯スポーツの実践計画が考察できる。

授業の計画	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】本講義の紹介および15回の展開を説明する。 【準備学習の内容】本講義シラバスを熟読しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】我が国における生涯スポーツの捉え方 【計画内容】我が国における生涯スポーツの捉え方について、基本的理念や概念を整理する。 【準備学習の内容】今回のテーマや計画内容に関わる情報収集を行い、自分の意見等をまとめておくこと。	A、H、J
	第3回	【テーマ】我が国における生涯スポーツと関連する法律 【計画内容】スポーツ基本法の制定および、スポーツ振興の方法について理解する。 【準備学習の内容】今回のテーマや計画内容に関わる情報収集を行い、自分の意見等をまとめておくこと。	A、H、J
	第4回	【テーマ】我が国における生涯スポーツの施策と総合型地域スポーツクラブ 【計画内容】我が国の生涯スポーツの施策や総合型地域スポーツクラブについて理解する。 【準備学習の内容】今回のテーマや計画内容に関わる情報収集を行い、自分の意見等をまとめておくこと。	A、H、J
	第5回	【テーマ】我が国における生涯スポーツのあり方 【計画内容】現在および今後の生涯スポーツのあり方について、地域スポーツ振興と合わせて検討する。 【準備学習の内容】今回のテーマや計画内容に関わる情報収集を行い、自分の意見等をまとめておくこと。	A、H
	第6回	【テーマ】自治体行政の教育計画 【計画内容】主な自治体における、健康づくり計画について理解する。 【準備学習の内容】今回のテーマや計画内容に関わる情報収集を行い、自分の意見等をまとめておくこと。	A、H、J
	第7回	【テーマ】自治体行政のスポーツ振興計画 【計画内容】主な自治体におけるスポーツ振興計画について理解する。 【準備学習の内容】今回のテーマや計画内容に関わる情報収集を行い、自分の意見等をまとめておくこと。	A、H、J
	第8回	【テーマ】自治体行政における生涯スポーツのあり方 【計画内容】自治体の生涯スポーツのあり方について、健康づくりとスポーツ振興の両面から検討する。 【準備学習の内容】今回のテーマや計画内容に関わる情報収集を行い、自分の意見等をまとめておくこと。	A、H、J
	第9回	【テーマ】総合型地域スポーツクラブの教育計画 【計画内容】総合型地域スポーツクラブの健康づくり計画について理解する。 【準備学習の内容】今回のテーマや計画内容に関わる情報収集を行い、自分の意見等をまとめておくこと。	A、H、J
	第10回	【テーマ】総合型地域スポーツクラブのスポーツ振興計画 【計画内容】総合型地域スポーツクラブのスポーツ振興計画について理解する。 【準備学習の内容】今回のテーマや計画内容に関わる情報収集を行い、自分の意見等をまとめておくこと。	A、H、J
	第11回	【テーマ】総合型地域スポーツクラブにおける生涯スポーツのあり方 【計画内容】総合型地域スポーツクラブの生涯スポーツのあり方について、健康づくりとスポーツ振興の両面から検討する。 【準備学習の内容】今回のテーマや計画内容に関わる情報収集を行い、自分の意見等をまとめておくこと。	A、H、J
	第12回	【テーマ】市町村における地域スポーツ実践計画(1) 【計画内容】市町村の地域スポーツ振興計画について具体的なシュミレーションを実践する。 【準備学習の内容】担当する市町村の現況および現計画などについて予習しておくこと。	A、G、H
	第13回	【テーマ】市町村における地域スポーツ実践計画(2) 【計画内容】市町村の地域スポーツ振興計画について具体的なシュミレーションを実践する。 【準備学習の内容】担当する市町村の現況および現計画などについて予習しておくこと。	A、G、H
	第14回	【テーマ】市町村における地域スポーツ実践計画(3) 【計画内容】市町村の地域スポーツ振興計画について具体的なシュミレーションを実践する。 【準備学習の内容】担当する市町村の現況および現計画などについて予習しておくこと。	A、G、H
	第15回	【テーマ】地域スポーツ振興のまとめ 【計画内容】地域スポーツ振興について、これまでの講義を振り返り、まとめを行う。 【準備学習の内容】これまでの講義を振り返り、自分の意見をまとめておくこと。	A、H、J

テキスト	随時参考図書の紹介、プリントを配付します
参考書	文部科学省、『スポーツ基本法』、スポーツ基本計画

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足						

質問への対応	メールもしくはオフィスアワーで対応。詳細は初回講義時に説明します。
資格	[生ス]中専・高専(保健体育)_ 選必
その他	

科目名	スポーツ社会学特論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	千葉　直樹				

授業の目的	ねらい	この授業では、文献購読と発表を通して、社会調査の方法を学び、スポーツと社会に関わる批判的な視点を獲得することを目的にする。また修士論文の執筆に役に立つ、論文の書き方、調査方法、先行研究の概観の方法について学ぶ。
	到達目標	(1)社会調査に必要な質問紙調査とインタビュー調査の方法を習得する。 (2)スポーツと社会に関する様々な問題に関して批判的な視点を獲得する。

授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の概要、評価方法などを説明し、受講生の研究テーマやスポーツに関する関心事項などを確認する。来週以降の発表内容を分担する。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。	B
	第2回	【テーマ】研究論文の書き方 【計画内容】修士論文や研究論文を書くための構成や序論の書き方を配付資料を通して学ぶ。 【準備学習の内容】参考書『バスケットボール学入門』と配付資料を熟読する。	B
	第3回	【テーマ】先行研究の概観 【計画内容】各自の研究に関わる先行研究の要約を用意し、発表する。 【準備学習の内容】先行研究の要約を作成する。	B
	第4回	【テーマ】社会調査法の習得 【計画内容】テキストの内容に基づき、社会調査法について受講者の分担章の発表を行い、理解を深める。 【準備学習の内容】テキスト『社会調査法入門』を熟読する。	B
	第5回	【テーマ】質問紙調査の習得 【計画内容】テキストの内容に基づき、質問紙調査法について受講者の分担章の発表を行い、理解を深める。 【準備学習の内容】テキスト『社会調査法入門』を熟読する。	B
	第6回	【テーマ】インタビュー調査の習得 【計画内容】テキストの内容に基づき、インタビュー調査法について受講者の分担章の発表を行い、理解を深める。 【準備学習の内容】テキスト『質的社会調査の方法』を熟読する。	B
	第7回	【テーマ】スポーツ現場における「体罰」の問題 【計画内容】スポーツ現場における「体罰」に関する配付資料を分担で発表し、「体罰」問題の解決方法について考える。 【準備学習の内容】配付資料を要約する。	B
	第8回	【テーマ】学校部活動の改革① 【計画内容】参考書の分担部分を発表する。その後、部活動の抱える課題について討議する。 【準備学習の内容】参考書『運動部活動の戦後と現在』を熟読する。	B
	第9回	【テーマ】学校部活動の改革② 【計画内容】参考書の分担部分を発表する。その後、部活動の今後のあり方について討議する。 【準備学習の内容】参考書『運動部活動の戦後と現在』を熟読する。	B
	第10回	【テーマ】近代オリンピックの功罪① 【計画内容】近代オリンピックの歴史と課題を配付資料や参考書の購読を通して、再確認する。 【準備学習の内容】参考書『オリンピック経済幻想論』を熟読する。	B
	第11回	【テーマ】近代オリンピックの功罪② 【計画内容】オリンピックの今後の方向性あり方について討議する。 【準備学習の内容】参考書『オリンピック経済幻想論』を熟読する。	B
	第12回	【テーマ】スポーツを通した再生産構造 【計画内容】配付資料の発表を通して、学歴と階層の関係、スポーツ活動と社会階層の関係について討議する。 【準備学習の内容】配付資料を熟読する。	B
	第13回	【テーマ】平和と開発のためのスポーツ 【計画内容】スポーツ活動を通してどのように世界平和や途上国の開発に役に立つか、配付資料の内容を通して検討する。 【準備学習の内容】配付資料を熟読する。	B
	第14回	【テーマ】スポーツに関わるインテグリティ(高潔性)の問題 【計画内容】スポーツ界で起こるインテグリティに関わる問題と対処法について検討する。 【準備学習の内容】配付資料を熟読する。	B
	第15回	【テーマ】授業のまとめ 【計画内容】これまでの授業内容について各自発表する。これまでの授業内容を踏まえ、レポート課題の内容を指示する。 【準備学習の内容】参考書を熟読する。	B

テキスト	盛山和夫、2004年、『社会調査法入門』、有斐閣 岸政彦・石岡丈昇・丸山里美、2016年、『質的社会調査の方法』、有斐閣
参考書	内山治樹・小谷究、2017年、『バスケットボール学入門』、流通経済大学出版会 中澤篤史、2014年、『運動部活動の戦後と現在』、青弓社 アンドリュー・ジンバリスト、2016年、『オリンピック経済幻想論』、ブックマン社

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			100%			
	補足						

質問への対応	授業前後の時間に質問などに対応する。
資格	
その他	

科目名	身体運動機構特論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	浅賀　忠義				

授業の目的	ねらい	本講義のねらいは、身体運動の機構をエネルギー発生とその制御の観点で理解することである。姿勢・運動制御に関連した脳・脊髄神経系機構を講ずる。スポーツのダイナミックな動作を可能とさせる随意運動によるエネルギー発揮とその制御メカニズムについて、運動力学および運動生理学の視点を交えて講ずる。また、生体信号および運動学的データの収集、解析、プレゼンテーション能力を実習を通して養う。
	到達目標	(1)身体運動の神経生理学が理解できる。 (2)身体運動のエネルギー発生が理解できる。 (3)身体運動の生体力学が理解できる。 (4)生体信号および運動学的データの収集、解析ができる。

授業の計画	第1回	【テーマ】講義：神経の構造と機能 【計画内容】神経系の基本構造、中枢神経の機能について理解する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】講義：筋の構造と機能 【計画内容】筋収縮のメカニズム等を理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H、J
	第3回	【テーマ】講義：運動とエネルギー発生 【計画内容】運動によるエネルギー発生機構について理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H、J
	第4回	【テーマ】講義：姿勢制御のメカニズム 【計画内容】姿勢の定義、生体力学、姿勢に関わる感覚システムについて学ぶ。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H、J
	第5回	【テーマ】講義：姿勢反応 【計画内容】フィードフォワード制御とフィードバック制御について学ぶ。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H
	第6回	【テーマ】講義：運動制御理論と運動学習理論 【計画内容】運動制御および運動学習の理論と練習効果の分析方法について説明する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H、J
	第7回	【テーマ】講義、実習：筋電図 【計画内容】筋電図計を理解し、筋活動の計測を実習する。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。	A、H、J
	第8回	【テーマ】講義、演習：データ解析ソフトのプログラミング① 【計画内容】データ解析ソフト（MATLAB）の基礎を理解する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A、H、J
	第9回	【テーマ】講義、演習：データ解析ソフトのプログラミング② 【計画内容】データ解析ソフト（MATLAB）の基礎を理解する。 【準備学習の内容】配付したプリントを予習しておくこと。	A、H、J
	第10回	【テーマ】講義、演習：データ解析ソフトのプログラミング③ 【計画内容】データ解析ソフト（MATLAB）の基礎を理解する。 【準備学習の内容】配付したプリントを予習しておくこと。	A、H、J
	第11回	【テーマ】講義、演習：データ解析ソフトのプログラミング④ 【計画内容】データ解析ソフト（MATLAB）の基礎を理解する。 【準備学習の内容】配付したプリントを予習しておくこと。	A、H、J
	第12回	【テーマ】グループワーク 【計画内容】筋活動・床反力・三次元座標などのデータを収集することを実習する。 【準備学習の内容】実験計画を立案しておくこと。	A、G、H
	第13回	【テーマ】グループワーク 【計画内容】データを同期してフィルターなどのデータ処理を実習する。 【準備学習の内容】配付するプリントを予習しておくこと。	A、G、H
	第14回	【テーマ】グループワーク 【計画内容】実験結果を解析し、作図することを実習する。 【準備学習の内容】配付するプリントを予習しておくこと。	A、G、H
	第15回	【テーマ】プレゼンテーション 【計画内容】他の受講生や教員等聴衆の前で発表する。プレゼンテーションのスキルアップとディスカッション能力を養う。 【準備学習の内容】プレゼンテーションの準備、練習をしておくこと。	A、H、J

テキスト	プリントを使用します
参考書	2007年、『神経科学ー脳の探求』、西村書店、9784890133567 山地啓司、2011年、『スポーツ・運動生理学概説』、明和出版

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足						

質問への対応	授業時間外はメールで対応します。E-Mail:ask-chu@hs.hokudai.ac.jp
資格	
その他	

科目名	障がい者スポーツ指導特論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	瀧澤　聡				
授業の目的	ねらい	障がいがある人がスポーツを楽しむための条件整備は社会的な課題である。障がいの種類や特徴を適切に把握し、それに応じたスポーツ実践・指導の内容や課題についての理解を深め、障がいがある人の生活の充実のためにスポーツが果たす役割について考察する。			
	到達目標	(1)様々な障がいの種類とその特徴について理解する。 (2)障がい種に応じたスポーツ指導の在り方について理解する。 (3)スポーツが障がい者の生活に与える影響について理解し、今後必要となる施策や社会の在り方についての考えを深める。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】障がい者スポーツの理念 【計画内容】15回の講義内容について概説し、障がい者スポーツの理念について理解する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】ノーマライゼーションの理念と障がい者スポーツ 【計画内容】障がい者福祉の国際的な動向について理解し、ノーマライゼーションの視点から障がい者スポーツの在り方を考える。 【準備学習の内容】ノーマライゼーションの理念について予習しておくこと。	L
	第3回	【テーマ】ICF(国際生活機能分類)の理念と障がい者スポーツ 【計画内容】社会参加の在り方が障がい者の生活に及ぼす影響について理解する。 【準備学習の内容】ICF(国際生活機能分類)について予習しておくこと。	L
	第4回	【テーマ】障がい者スポーツの法的・行政的支援 【計画内容】障がい者スポーツに関連する法令や条例、施策の内容について理解する。 【準備学習の内容】スポーツ基本法の内容を予習しておくこと。	L
	第5回	【テーマ】国内外における障がい者のスポーツ大会 【計画内容】パラリンピックをはじめ、国内外で行われている障がい者スポーツの大会について知る。 【準備学習の内容】国内外で開催されている障がい者スポーツの大会について調べておくこと。	L
	第6回	【テーマ】肢体不自由者の特性とスポーツ指導の在り方 【計画内容】脊髄損傷を含む肢体不自由者の病理や心理に関する特性ならびに体力・運動能力の特性を知り、適切なスポーツ指導の在り方について理解する。 【準備学習の内容】脊髄損傷が身体機能に与える影響について調べておくこと。	J
	第7回	【テーマ】脳性まひ者の特徴とスポーツ指導の在り方 【計画内容】脳性まひ病理や心理、運動能力の特性を知り、適切なスポーツ指導の在り方について理解する。 【準備学習の内容】脳性まひの特性について調べておくこと。	J
	第8回	【テーマ】視覚障がいの特性とスポーツ指導の在り方 【計画内容】視覚障がい者の心理や生理、病理、体力・運動能力の特性について理解し、適切なスポーツ指導の在り方について理解する。 【準備学習の内容】視覚障がい者の心理について予習しておくこと。	J
	第9回	【テーマ】聴覚障がいの特性とスポーツ指導の在り方 【計画内容】聴覚障がい者の心理や生理、病理、体力・運動能力の特性について理解し、適切なスポーツ指導の在り方について理解する。 【準備学習の内容】聴覚障がい者の心理について予習しておくこと。	J
	第10回	【テーマ】知的障がいの特徴とスポーツ指導の在り方 【計画内容】知的障がい者の心理や生理、病理、体力・運動能力の特性について理解し、適切なスポーツ指導の在り方について理解する。 【準備学習の内容】知的障がい者の心理について予習しておくこと。	J
	第11回	【テーマ】重度身体障がい者のスポーツ指導の在り方 【計画内容】重度身体障がいの概念について理解し、適切なスポーツ指導の在り方について理解する。 【準備学習の内容】進行性筋ジストロフィー症の種類と特性について調べておくこと。	J
	第12回	【テーマ】精神障がいの特性とスポーツ指導の在り方 【計画内容】精神障がいの種類や症状について理解し、精神障害がい者におけるスポーツの取り組みの意義について理解する。 【準備学習の内容】精神障がいの内容について調べておくこと。	J
	第13回	【テーマ】発達障がいの特性とスポーツ指導の在り方 【計画内容】発達障がいの特性とスポーツ指導における留意点について理解する。 【準備学習の内容】発達障がいの特性について調べておくこと。	J
	第14回	【テーマ】障がい者の体力・運動能力を向上させるための指導・トレーニングの在り方 【計画内容】運動不足が障がい者の生活に及ぼす影響と、障がい者のスポーツトレーニングの理論について知る。 【準備学習の内容】運動不足による健康上のリスクについて調べておくこと。	L
	第15回	【テーマ】運動制御論を用いた障がい者の運動指導 【計画内容】障がい者の運動指導において運動制御論から、指導プログラムを構想し理解する。 【準備学習の内容】運動制御論の概要について調べておくこと。	J

テキスト	プリントを使用します
参考書	必要に応じて適宜紹介します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足						

質問への対応	講義中や研究室で随時受け付けます。
資格	[生ス]中専・高専(保健体育)_ 選必
その他	

科目名	障がい者心理学特論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐藤　至英				
授業の目的 ねらい	心身の様々な障害がある人の心理特性について、理解を深めることを目的とする。心身障害の概念およびその歴史的変遷について触れ、視覚障害、聴覚障害、運動障害、知的障害、発達障害などにおける特有の心理的特性ならびに対応ついて、国内外の新しい知見を踏まえながら考察する。				
授業の目的 到達目標	(1)障害とは何か、各障害の原因・心的特性は何かを説明できる。 (2)各障害について、その特性と支援を理解する。 (3)障害のある人に対する理解を深める。				

授業の計画		
第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義のねらい、到達目標、15回の講義展開を説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A、L
第2回	【テーマ】障害とは何か 【計画内容】障害の基本的概念について、病気との関連で理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、L
第3回	【テーマ】視覚障害とは 【計画内容】視覚障害とは何か。視覚障害の心理的特性と対応について理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、L
第4回	【テーマ】聴覚障害 【計画内容】聴覚障害とは何か。聴覚障害の心理的特性と対応について理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、L
第5回	【テーマ】運動障害とは 【計画内容】運動障害とは何か。運動障害の心理的特性と対応について理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、L
第6回	【テーマ】病弱・虚弱とは 【計画内容】病弱・虚弱とは何か。病弱・虚弱の心理的特性と教育的支援について理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、L
第7回	【テーマ】言語障害とは 【計画内容】言語障害とは何か。言語障害の心理的特性と対応について理解する。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(中間レポート)。	A、L
第8回	【テーマ】知的障害とは 【計画内容】知的障害とは何か。知的障害の心理的特性と対応について理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、L
第9回	【テーマ】発達障害とは 【計画内容】発達障害とは何か。発達障害の心理的特性と対応について理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、L
第10回	【テーマ】自閉症スペクトラム障害とは 【計画内容】自閉症スペクトラム障害とは何か。自閉症スペクトラム障害の心理的特性と対応について理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、L
第11回	【テーマ】高機能自閉性障害・アスペルガー障害とは 【計画内容】いわゆる高機能自閉性障害・アスペルガー障害とは何か。高機能自閉性障害・アスペルガー障害の心理的特性と対応について理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、L
第12回	【テーマ】学習障害とは 【計画内容】学習障害(学習症)とは何か。学習障害(学習症)の心理的特性と対応について理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、L
第13回	【テーマ】注意欠如多動性障害(注意欠如多動症)とは 【計画内容】注意欠如多動性障害とは何か。注意欠如多動性障害の心理的特性と対応について理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、L
第14回	【テーマ】再び、障害とは何か。 【計画内容】障害の概念、心理的特性、対応について、あらためて病気との関連で理解を深める。 【準備学習の内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A、L
第15回	【テーマ】バリアフリー社会の実現を目指して 【計画内容】障害がある人も住みよい社会とは何か。バリアフリー社会の実現に向けて何が課題となっているかについて理解する。 【準備学習の内容】前回配付した「まとめ」のプリントについて理解を深めておくこと。	A、L

テキスト	講義時にプリントを配付します
参考書	佐藤泰正・中山哲志・桐原宏行、2011年、『福祉心理学総説』、田研出版、9784860890308 徳田克己・塙和明、2002年、『看護・医療・教育・保育・福祉に関わる人のための心身障害学』、文化書房博文社、9784830109690 適宜紹介します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足			平時・最終		平時	

質問への対応	講義時に質問を受けます。E-Mail: shiei@hokusho-u.ac.jp
資格	[生ス]中専・高専(保健体育)_ 選必
その他	学習活動 【授業前】障害とは何かを事前に考える。 【授業中】できないこと、できることは何か。各障害の定義、特性を理解する。何が支援かを考える。 【授業後】何が課題なのかを理解する。課題解決のために何ができるかを考える。

科目名	スポーツ心理学特論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	蓑内　豊				
授業の目的 ねらい	本講義のねらいは、スポーツ競技において、最高のパフォーマンスを発揮するメンタルトレーニングの理解を深めることである。スポーツ活動や運動パフォーマンスを促進するための心理的スキル・ストラテジーを理解しながら、スポーツ場面特有の心理的不安やその対処方法についての知識を深め指導力を養う。また、スポーツ活動や運動が、精神や健康に対して有する効用などを心理学的観点から学ぶことも行う。				
授業の目的 到達目標	(1)スポーツ / 運動の心理的効用について理解し、説明できる。 (2)メンタルトレーニングの意義を理解できる。 (3)スポーツ現場で基本的なメンタルトレーニングの技法を紹介できる。				

授業の計画		
第1回	【テーマ】スポーツ心理学の概要の理解、授業ガイダンス 【計画内容】授業のオリエンテーション、スポーツ心理学の内容、歴史を説明する。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。	A
第2回	【テーマ】スポーツ / 運動の心理的効用1:理論的理解 【計画内容】スポーツ / 運動と心理的状態の変化について学ぶ。 【準備学習の内容】事前の配付資料を読んでくること。	A
第3回	【テーマ】スポーツ / 運動の心理的効用2:体験的理解 【計画内容】スポーツ / 運動と心理的状態の変化について学ぶ。自分の体を使って運動と心の関係についてのデータ測定を行う。 【準備学習の内容】自分の心理的状態の変化を測定するので、軽運動ができる準備をすること。	C
第4回	【テーマ】スポーツ / 運動の心理的効用3:分析・評価 【計画内容】測定したデータを分析し、スポーツ / 運動の心理的効用を学ぶ。 【準備学習の内容】自分で測定したデータを整理・分析し、レポートにすること。	B、F
第5回	【テーマ】メンタルトレーニングの概要 【計画内容】メンタルトレーニングの全体像・種類について学ぶ。 【準備学習の内容】事前の配付資料を読んでくること。	A
第6回	【テーマ】心理テストの活用1:心理テストの目的の理解 【計画内容】目的に応じた心理テストを理解し、その実施方法を学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した心理テストを実施してくること。	B
第7回	【テーマ】心理テストの活用2:心理テストの体験 【計画内容】目的に応じた心理テストを理解し、その実施方法を学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した心理テストを実施してくること。	B
第8回	【テーマ】リラクセーションの理論的理解 【計画内容】リラクセーション技法を体験し、その方法を学ぶ。 【準備学習の内容】学習したリラクセーシヨンを実践し、記録を付けること。	B
第9回	【テーマ】リラクセーションの体験 【計画内容】リラクセーション技法を体験し、その方法を学ぶ。 【準備学習の内容】学習したリラクセーシヨンを実践し、記録を付けること。	B、L
第10回	【テーマ】チームワークとチームビルディング1:理論的理解 【計画内容】チームビルディングの理論を学ぶ。 【準備学習の内容】事前の配付資料を読んでくること。	A
第11回	【テーマ】チームワークとチームビルディング2:体験的理解 【計画内容】チームビルディングの技法を体験し、その方法を学ぶ。 【準備学習の内容】実践内容、および、結果についてまとめ、レポートにすること。	B、F、L
第12回	【テーマ】心理的コンディショニング1:理論的理解 【計画内容】心理的コンディションとスポーツパフォーマンスの関係を学ぶ。 【準備学習の内容】事前の配付資料を読んでくること。	B
第13回	【テーマ】心理的コンディショニング2:体験的理解 【計画内容】心理的コンディショニングの方法を学ぶ。 【準備学習の内容】自分の心理的コンディショニングの結果についてレポートにすること。	B、L
第14回	【テーマ】スポーツ心理学の現場での活用1:理論的理解 【計画内容】スポーツ心理学の理論や技法をスポーツ現場に活用する。 【準備学習の内容】スポーツ心理学を活用するスポーツ現場の確保すること。	B
第15回	【テーマ】スポーツ心理学の現場での活用2:体験的理解と討論 【計画内容】スポーツ心理学の理論や技法をスポーツ現場に活用する。 【準備学習の内容】実践内容、および、結果についてレポートにして提出すること。	B、L

テキスト	日本スポーツ心理学会編、2016年、『スポーツメンタルトレーニング教本』、大修館書店、9784469268065
参考書	蓑内豊・竹田唯史・吉田聡美、2016年、『基礎から学ぶスポーツ心理学』、中西出版、9784891152635

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			80%		20%	
補足			レポート			

質問への対応	初回講義時に指示します。
資格	[生ス]中専・高専(保健体育)_ 選必
その他	

科目名	特別研究指導Ⅱ	授業形態	演習	単位数	4
教員名	担当教員				
授業の目的 ねらい	1年次の「特別研究指導Ⅰ」で進めた研究立案に沿って、調査や実験を深め、研究を進展させる。研究で得られたデータを統合させ、総合的に完結させる能力を養う。得られた研究成果は、国内外の学会。学会誌に研究発表を行い、外部から受ける評価を体験する。				
授業の目的 到達目標	(1)自らの関心の研究対象を明確にして課題設定を固め、その課題解決のための研究方法を設定し、実験、測定を行い、結果を抽出し考察する。 (2)「コロキューム(第二)」を通し、修士論文完成に向けて多数の教員による評価・検討を受けて理解し研究内容を改善する。				

授業の計画

【計画内容】
生涯スポーツをテーマに研究し、その成果を修士論文としてまとめる。

【テーマ】
<< 前学期 >> A、F、I
第１回～第５回：ガイダンス、研究計画の見直し、修士論文執筆計画の立案を行う。
第６回～第10回：先行研究に基づき、研究成果の検証や結果処理を検討する。
第11回～第15回：研究成果についてディスカッションし、考察を行う。
<< 後学期 >> A、F、I
第16回～第20回：「コロキューム(第二)」による論文作成に向けての検討会の準備および発表を行う。
第21回～第25回：研究の検証を行いながら、修士論文の執筆を行う。
第26回～第30回：修士論文を完成させ、口述試験や発表会の準備を進める。

【教員個別の指導内容】
瀧澤　　聡：障がい者のスポーツ指導方法学的課題を担当指導する。
千葉　直樹：体育・スポーツ社会学に関わる課題を担当指導する。
沖田　孝一：スポーツ・健康医科学的課題を担当指導する。
竹田　唯史：スポーツ指導方法学的課題を担当指導する。
小田　史郎：健康科学的課題を担当指導する。
井出幸二郎：トレーニング科学的課題を担当指導する。
小坂井留美：生涯スポーツ学的課題を担当指導する。
山本　敬三：スポーツバイオメカニクス的課題を担当指導する。
花井　篤子：水中運動処方や競泳などをはじめ、スポーツ・健康科学的課題を担当指導する。
吉田　　真：スポーツコンディショニング的課題を担当指導する。
吉田　昌弘：アスレティックリハビリテーション学的課題を担当指導する。

【準備学習の内容】
適宜、指導教員より指示する。

テキスト	適宜、指導教員より指示します。
参考書	適宜、指導教員より指示します。

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	40%		20%		40%	
補足					修士論文	

質問への対応	各指導教員より講義開始時に説明します。
資格	
その他	

講義要綱

SYLLABUS

北翔大学大学院

平成30年４月　発行

北翔大学・北翔大学短期大学部

〒069-8511　江別市文京台23番地

TEL（011）386－8011

FAX（011）387－1542

講義要綱 SYLLABUS

北翔大学大学院

2018